◆定価= ◆推薦=古川 18、000円+税

◆編·解説=斎藤 光

復刻版概要





主要執筆者

◎体裁=A5判・上製・340

~ ージ

タは六花出版HPに掲載

(http://rikka-press

九三七年三月~五月

海·解説 = 斎藤光(京都精華大学)

定価=18、000円+税 推薦=古川誠(関西大学)

16年9月刊行

## 関連図書のご案内

## 〈変態〉二十面相 もうひとつの近代日本精神史

## 竹内瑞穂+「メタモ研究会」=編

近代化は、人々を封建的な諸制度の縛りから解き放つ一方で、新たな近代的規範 へと取り込んでいく。性科学・心理学・精神医学といった学知を通じ、性欲や心理な どの〈変態〉が問題視されるようにもなってゆく。さらに1920~30年代では〈変態〉 を排除または管理する動きとともに、〈変態〉をある種の快楽として消費するエロ・ク ロ・ナンセンスが流行する。

忌避と憧憬という矛盾するまなざしが併存する〈変態〉と向き合ってきた人物に焦 点を当て、近現代の社会・文化を再考する論文集!

A5判•並製•224頁 定価:1,800円+税 ISBN978-4-86617-020-6

森長英三郎 暁

## 九三七年三月~五月

復刻版

商業的で興味本位の性の問題を「文化的」「科学的」に研究・批判した総合文化雑誌

性科学研究所機関誌『性科学研究』『性教育』の後継誌、新発見資料の復刻

雑誌」として刊行された。 と同時に、「広く人間生活一般を充実発展させるための文化 本誌は「性問題の文化的科学的研究と批判の機関」である

術と性などの問題に取り組んだ。 る伝説や迷信・喫茶店やレビュー 誌であった。 がら、二一世紀の性問題を見通すような先見性にあふれた雑 性道徳・売春・戦争と性・ハンセン病療養所と性・性をめぐ 問題の解明という前身誌からの大きなテーマを引き継ぎ、 太田武夫(典礼)・式場隆三郎らによる性科学研究所は、性 わずか三号という短命な ・カフェ文化・同性愛・芸

長く未発見であった本誌をおよそ八〇年ぶりに復刻する。

六花出版

\*表示価格はすべて税別。



〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-28 電話03-3293-8787 FAX03-3293-8788 http://rikka-press.jp





# 日本の性文化の戦前と戦後をつなぐ雑誌

古川 誠

伝えることを目的とした雑誌のことである。 る雑誌群が日本社会に氾濫した。性に関する知識を一般の読者向けに 一九二〇年代から三〇年代にかけて、 いわゆる通俗性欲学とよばれ

大衆文化の原型が生まれつつあった。 時代は、 通俗性欲学もそうした時代背景のもと、 エロ・グロ・ナンセンスの風潮が人びとを刺激し、 現代

あてられた。猟奇や変態といったキーワードは性のみならずこの時代 の文化を象徴するものであった。 変態的なものにまず焦点が

なセンセー してきた。 それは、性を社会と個人の二つの領域の接点にある重要な要素だと しかし、そうした特異な性の現象への興味本位な視線と商業主義的 ショナリズムとは異なる性のとらえ方もこの時代に姿を現

理解しようとする立場である。 する考え方である。性の普遍的かつ一般的なあり方の本質と広がりを 『性教育』が『ユマニテ』と改題したのも、 まさにこうした性に関する

なぐ重要な位置を占める雑誌である。性文化の研究者のみならず、 く近代日本の大衆文化に興味を持つ読者に薦めたい。 た編集方針は、戦後の性文化雑誌『えろちか』に通じるものがある。 ている。母権制を論じたり、喫茶店やレビューを取りあげたりといっ 一般的な研究をめざした試みであるといえよう。改題された号の冒頭 、戸坂潤の「性道徳について」ではじまることがその方向性を物語 『ユマニテ』は、そうした意味で戦前と戦後の日本社会の性文化を



## ある軍醫の

R 木

新

り私達は仕事に取りかゝらねげならなかつた。いつまでも感傷的な氣持が響いて、岸に立つ敷萬の見送人と、打ち振られる日章族の群を後に、

れたり、講話をきかされたりした。け水をどんなにして濾過するかといふこ

まんくな示 にはさ こゝにはさ こゝにはさ こゝにはさ

·知識をしつかり與へねばならぬといふので、早速、私達は各自手わけして、衞生訓話をし私達を一番惱ましたのは、性病の問題だ。如何にしてこれを防ぐか、先づ兵に性病に對すぶと、これもさし當つてどうかうするわけにも行かなかつた。

であると思 いか含まれ

## 變茶 F 批

隆

Ξ

郎

の喫茶店の存在理由は第一に

て磔に話もできない鬱

\_\_\_ 39 ---

であらう。こゝでもう一度外関と比較すく、喫茶ガールの性的魅力を愉しむことく、喫茶ガールの性的魅力を愉しむことは、味覺でも零国氣でも、又音樂でもなは、味覺でも常い人々が、喫茶店に行く第一の目的 4でもら一度外関にたの性的魅力を愉!

性の起源と進化………時 評 開業醫の立場: 編 輯 後 記 …… 性科學定例研究會豫告 獅子面 物語……… 現代ラヴ・レダー模範集 賣 笑 街 印 象 記 … 新しい野球の見方 獨立展批判 女性美と美術家 ムッソリニの戀愛 妻を棄てる。掟 合場の氏子まこ 日本娼婦の社會史的研究 ジイド ソヴエト墮胎禁止法に就て ソヴェトの性生活調査 現代文學に於ける女性 西鶴に於ける「好色」に就て 女性と煙草 作 稿 傷ついた女性 「新生」はどこにあるか 1 7 終 末 談 澤 ė 東 曉

マニ

テ

三月

創

刊

號

目

次

現代

の性生活

玉

城

肇

(新) (性) (慾) (論)

並

木

順

新しき結婚のモラ

jν

太

田

武

夫

ユ

7

=

テ

四月

號

目

次

テ

五月號目

知知

大

磯

漫

談

茶

店 者

批

判 論

内容見本



本願寺の暗黑面瞭落、腐敗の殿堂 津 澤

▼近代文藝と愛の惱み…… ▼佐科 學 の 概 念…… ▼ 方 結 婚…… ▼青年論… の戀愛觀

田 英 三 武

美術縱橫談

佐

由

Dr.

郎

現代ソヴエトの賣笑政策 場所 外 聯の性 生活

幸英

接吻の科

學

ハヴロツク・エリス

カフエの日本的性格 レヴユーの社會學

ア・エルンス

また。 ある軍醫の手記

代々木

癩院の愛

慾

樂

或

性愛と文學

富 邑

幸

ある軍闘の手記 代々木 戶 修

:性科學研究所

間の一生 藥物語.

編 性料學研究所

太 田 武

夫

伊 澤